

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	・児童の成長と共に福祉用具等が大きくなります。また、児童に必要な支援用品の数も多いと感じます。できる限り活動スペースが確保できるよう、その日使用しないものについては、活動室外に移動し、活動スペースの確保に努めています。 ・バギーや車いすを適時移動させながらスペース作りをしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	・各職種ごと、また全体で休みが重ならないよう話し合っています。 ・送迎時には、人員の不足を感じる事もありますが、送迎員の採用等も含め検討しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		・所持品始末エリアの構造化、また一日の流れについても提示しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		・玩具の片づけ場所の提示、クッションマットを用い、遊びスペースの増減を適時行っています。 ・毎日、床やマットすべてを消毒液にて拭き掃除しています。使用した玩具の消毒も行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		・部門会議を用い、適時見直しや再構築の話し合いを行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		・部門会議、ミーティングにて全体に伝え、改善案を検討、実行しています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		・ホームページにて公開しているだけでなく、紙ベースでも全員に配布しています。また、事業所内への掲示も行っています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		・各委員会ごとに研修会を実施しています。少人数で数回実施することで、多くの職員が参加できるよう工夫します。 ・外部研修報告会も定期的の実施し、学んだことをアウトプットする機会を設けています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		5	・発達検査の結果などは、適時保護者様より共有していただきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		・毎朝ミーティングで再確認しています。 ・毎朝計画書の確認を行い、その日の活動と照らし合わせ、活動のねらい等を共有しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		・週ごとに計画立案チームがあり、検討しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・月に1つは新しい活動を取り入れるようにしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		・必要に応じ、個別活動 集団活動を組み合わせ支援を組み立てています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		・朝のミーティングでは、引継ぎ内容、前回の利用状況、健康状態などの確認を行っています。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4	・シフトにより出勤時間が異なるため、帰りに全員が集まる事は難しい現状です。その場にいる職員で共有したり、業務日誌に記録することで、周知を図っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		・可能な限り、児童担当と児童発達支援管理責任者にて参加し情報収集、共有をしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		・特にリハビリ担当者様との連携を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5		・医療的ケア児支援センター等を中心に、様々な機関と連携し支援を行っています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5		・保護者様を通し、連携を取っています。 ・緊急時等には、直接医療機関に連絡を入れています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		・担当者会議での情報共有を行っています。また、必要に応じ、直接電話でのやり取りも行います。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		・申し送り書を作成し、引継ぎを行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		・必要に応じ、各事業所との情報共有を行い、支援に活かしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		5	・コロナの収束がまだ見えず、今年度実施できていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5		・積極的に参画するようにしています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		・連絡帳の活用、送迎時の申し送りにて情報共有しています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5		・保護者会等の場を用い、子どもへの関り方やアンガーマネジメントについて勉強会を開催しています。次年度はさらに拡大させていきたいと思っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		・連絡ノートに記入されたご相談、日頃の会話の中でのご相談などは、児童発達支援管理責任者や保育士、看護師で共有し、対策方法などを検討した上で保護者様にお返しするようにしています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		・今年度は、未就学児の保護者様の集まり、そして医療的ケア児や重心児の親の会【おしゃべりクラブ】の開催、またイルカクラスに通う保護者様の交流会も行うことができました。次年度さらに拡大していきたいと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		・ブログ、SNSでの発信に力をいれています。また、イルカ らっこそれぞれに活動の様子をお伝えするためのおたよりをお渡ししています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		・個人情報保護についての勉強会を実施し、個人情報取り扱い時のルールについて再確認しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		・連絡ノート、口頭での申し送りなどを実施しています。児童については、マカトンサインや手話、ジェスチャーなども用い、表現方法の多様化に取り組んでいます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5		・マニュアルに基づき、避難訓練やAED、緊急連絡網訓練、吐物処理方法確認などを定期的に行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		・年度当初計画を立案し、それに基づいて訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		・検査結果について、逐次用紙をご提出いただきます。食札にアレルギーの記載をし厨房との連携を取っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		・事例集は作成していませんが、過去のアクシデントやヒヤリハットについても振り返る研修会を実施しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		・年2回のアンケート後、委員会を中心とした研修会を行っています。適時感情のコントロールについても学ぶ機会を設けています。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		・身体拘束は行いません。	